



みんなでチャレンジ!いきいき!!

第7号 令和6年6月11日 呉市立広小学校 (文責: 校長 後東貴之)

○教育目標「学びいっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱいの『ひろっこ』の育成」

全校朝会で話したこと

6月5日(火)の全校朝会で、私(校長)から子供たちに話をしました。ひろっこがいきいきと学校生活を送るために、二つの話をしました。

今日は、校長先生から二つの話をします。
一つ目の話は、こういう式を見かけました。

$$100 - 1 = 0$$

これは、帝国ホテルの総料理長の田中さんが言われたことです。

料理人の田中さんは「料理とは手を抜かぬ心によってこしらえるもの」と言います。料理の世界では、たった一つの妥協やごまかしで、味のすべてが台無しになる、つまり「0になる」のです。

みなさんも学級や学校で自分の役割があると思います。任された役割を、手を抜かないで取り組む、最後までやり遂げる、そんな姿を校長先生は期待します。

自分から挨拶ができていますか。もくもく掃除、着ベルはできていますか。学校でお菓子を食べていないですか。落書きをしていないでしょうか。友達に対して傷つくような言葉を言ったり、行動をとったりしていないでしょうか。

たった一つの行動(言動)があなたの評価につながり、たった一人のひろっこの行動(言動)が広小学校の評価につながります。「ごめんね」「いいよ」ではすまされないことがあるのです。

“0”になってしまった評価を“100”に戻すためには、大変な努力が必要となります。

自分自身ふりかえてみましょう。「**当たり前のことが当たり前**にできているか」です。

次に、二つ目の話は、「人を笑顔にする算数」です。

人を笑顔にする算数	「+」: たすけあう
	「-」: ひきうける
	「×」: 声をかける
	「÷」: わけあう



「+」は、困っている人がいたら**たすけあう**ことです。泣いている子がいたら声をかけたり、けがをした子がいたら保健室へ連れて行ったりすると、してもらった人はホッと安心するものです。

「-」は、人のいやがることを積極的に**ひきうけたり**、お手伝いを進んで**ひきうけたり**することです。自分自身も人の役に立つ喜びを得ることができます。

「×」は、寂しそうにしている子がいたら**声をかけたり**、勉強がわからない子がいたら**教えたり**することです。**声をかけ合う**ことで、学校生活が楽しくなることにつながってくるのです。

「÷」は、うれしいことがあったらみんなで喜び合い、悲しいことがあったらみんなで**わかち合う**ことです。そうすると、うれしいことは何十倍にもなり、悲しいことは何十分の一になるので、悲しみは減っていきます。**わけあう**ことでみんなの幸せにつながってくるのです。

たすけあう、ひきうける、声をかける、わけあう、この4つの『おもいやり算』を行動に移すことで、広小学校はますます思いやりあふれる、いきいきとした学校になるでしょう。

当たり前のことを当たり前にして、みんなでチャレンジし、いきいきとしたひろっことなるように取り組んでいきましょう。